



「何も無い人間の戦い方！！」

創業経営者というのは事業を始めた頃は金も無い、人もいない、お客様もいない、信用も無い、実績も無い、歴史も無い、何もかも無いづくしであったと思う。

私もそんな創業経営者の端くれだからそれはよく分かる。

事業欲というのか「情熱」だけが前進させていく力であったはずである。

しかしながら、そのような経営という世界に限らず、ごく普通の人の人生においても「何も無い」場合がほとんどであろう・・・。

何も無いあなたや私にとっては何も無い人間としての戦い方がある。

その1 お金が無い。

お金が無ければ智恵を出せ。智恵も無ければ身体を張って汗を流すしかない。汗も流せない人間は自立が困難である。

その2 バックも人脈も無い。

ひとつひとつの事を着実にやり遂げて、自分の存在を認めてもらうしかない。「誠心の思想」で周りの人に接していくことで、人脈を手繰り寄せていくことも大切である。

その3 信用が無い。

約束を守れ。時間を守れ。お金のやり取りはきちんとしろ。

約束をすっぽかしたりする人間がいるが、それは最悪だ。そんな人間は全てにおいてルーズだからである。

その4 頭が悪い。

本をよく読め。人の言うことに謙虚に耳を傾けよ。

その5 根性が無い。

逃げ道をふさぎ、前だけを見ていくようにする。逃げ場を持ちながら生きている人間は何をやっても中途半端になるし、責任転嫁の人生になっていく。

その6 耳に痛いことを言ってくれる人を大切にせよ。

イエスマンを侍らせている人は多いが、百害あって一利無しである。耳に痛いことを言ってくれる人を信頼し師と仰げ！！

その7 心地良いことを言って褒めてくれる人は特に警戒すべし。

その8 何も無いということは逆に失うものも何も無いということである。何も無いということはそれ自体が最大の強みとなる。

その強みを最大に生かした戦いをすべきであろう。その強みを生かしている人の生き様は肚が坐っている。

変えなければならぬのは「経営者」「管理者」「社員」の意識である。変えてはいけぬのは人間としての「本質」である。

